

平成 26 年度京都市保健所運営方針取組結果

【1 重点方針に基づく取組結果】

1 地域や関係団体，ボランティアの皆様等との協働の下，「京都市民健康づくりプラン（第2次）」を推進し，市民一人ひとりのかけがえのない「いのち」と「健康」を守る施策の充実に努めるとともに，自主的な健康づくりに向けた市民の意識・行動変容を図り，いきいきと健やかな「笑顔・健康都市」を目指します。

⇒ 「健康づくりサポーター」の養成及び活動支援

地域において健康づくりの担い手として活動するボランティアである健康づくりサポーターの養成及び活動支援を実施

（新規養成数：59人，平成26年度末現在登録者数：414人，
延べ活動回数：819回）

⇒ ロコモティブシンドローム予防の推進

健康づくりサポーターの活動等を通じて，ロコモ予防のための運動プログラム「京ロコステップ+10」の普及啓発に取り組むとともに，高齢者筋力トレーニング教室の参加者の協力を得て，運動プログラムの評価を実施

⇒ がん検診の受診率向上に向けた取組の推進

がん検診の受診勧奨リーフレットを全戸配布するとともに，過去5年間にがん検診無料クーポン券を使用しなかった対象年齢の方に再度配布する「働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業」を新たに実施。また，5つのがん検診が同時受診できる「がんセット検診」の受診会場を，これまでの3箇所から5箇所に拡大して実施

2 東日本大震災から得られた教訓や，昨年台風18号による災害対策を踏まえ，関係団体等との意見交換を行いながら，大規模災害発生時の対応力の強化に取り組みます。

⇒ 妊産婦等福祉避難所の指定

政令市初の取組として，大規模災害時に身近な支援者がいない妊産婦等を受け入れる「妊産婦等福祉避難所」の事前指定に係る協定を締結するとともに，運営ガイドラインを策定

（事前指定に係る協定締結施設数：9施設）

⇒ **安定ヨウ素剤の備蓄**

原子力災害発生時に主としてUPZ圏内（原子力発電所から32.5キロ以内）からの避難住民等に配布する安定ヨウ素剤を備蓄するとともに、保管場所や服用対象者、服用手順を示す「予防服用実施要領」を策定

⇒ **災害被災地への保健師の派遣**

平成26年8月16日に発生した福知山市の集中豪雨による被災者に対し、健康調査等の保健活動を実施する保健師を派遣
(延べ訪問家庭数：646件)

3 保健センター等との緊密な連携体制の下、食中毒や新たな感染症等の健康危機事案の発生に係る対応力を強化します。

⇒ **保健センターとの連携による健康危機事案への対策強化**

院内感染及び医療事故発生時の保健センターと本庁保健所との情報共有や連絡手順等を明確にするため、「院内感染、医療事故等発生時における京都市医療安全対応マニュアル」を策定

⇒ **大規模調理施設に対する緊急立入調査の実施**

平成26年5月初旬に発生した大規模弁当調整所での食中毒事案の発生を受けて、1日300食以上の弁当を調理する事業所への緊急立入調査を実施
(緊急立入調査実施施設数：24施設)

⇒ **「HACCP（危害分析・重要管理点方式）」による衛生管理基準の制定**

「食品衛生法に基づく管理運営基準に関する条例」を改正し、最終製品の抜き取り検査等による従来からの衛生管理基準に加え、食中毒の発生及び食品衛生法違反食品の製造等の防止につながり、食品の安全性の向上が期待できる「HACCP（危害分析・重要管理点方式）」による衛生基準を制定

⇒ **エボラ出血熱の万一の発生に備えた対応**

西アフリカでのエボラ出血熱の流行を踏まえ、万一の市内における患者発生に備えるため、「エボラ出血熱対策マニュアル」を策定するとともに、平成26年11月に、京都府及び関係医療機関との連携の下で実地訓練を実施

4 各分野において予定されている制度改正について、円滑な実施や、市民への的確な周知に努めます。

⇒ **定期の予防接種に追加された「水痘」及び「高齢者肺炎球菌」予防接種の円滑な実施**

平成26年10月から新たに定期の予防接種に追加された「水痘」及び「高齢者肺炎球菌」予防接種について、市民しんぶんや対象者への個別通知による

制度周知に努める等、円滑な接種を実施

(水痘：20,177人, 高齢者肺炎球菌：33,475人)

⇒ 指定難病及び小児慢性特定疾病に係る医療費助成制度の拡充

平成27年1月に、指定難病及び小児慢性特定疾病に係る医療費助成の対象疾患が拡大されたことから、円滑な制度実施に向けて、継続申請の方への個別周知や市民しんぶん、ホームページでの市民周知を実施

(平成26年度末現在受給者数：難病11,518人, 小慢1,226人)

【2 各分野ごとの主要施策の取組結果】

(1) 母子保健関係

項目	取組結果
産後ケア対策の充実「スマイルママ・ホット事業」の実施	平成26年7月から、産科医療機関等でのデイケアやショートステイにより母親の心身のケアや育児サポート等を行う「スマイルママ・ホット事業」(産後ケア事業)を開始 <平成26年度実績：ショート34件, デイ5件>
小児慢性特定疾患治療研究事業の充実	平成27年1月から、改正児童福祉法の施行に伴い、小児慢性特定疾患医療費助成の対象疾患が514疾患から704疾患に拡大 <平成26年度実績：新疾患に係る新規受給者数12人>
次期「京都市母子保健計画」の策定	「京都市子ども・子育て会議」での審議や市民意見の募集結果を踏まえ、平成27年1月に母子保健計画を包含した「京都市未来こどもはぐくみプラン」(計画期間：平成27年度～31年度)を策定
「保健師人材育成ガイドライン」の推進	「京都市職員力・組織力向上プラン」の職種別計画として、全ての保健師配属職場に意見照会のうえで、「保健師人材育成ガイドライン」を策定し、体系的かつ組織的な人材育成を推進
乳幼児健診マニュアル改訂版の導入による健診精度の向上	育児不安による児童虐待の防止や発達障害児の早期発見、早期支援の充実のため、平成26年7月から、改定後の乳幼児健診マニュアルを用いた健診を実施 <平成26年度実績：4か月児健診10,890人, 8か月児健診10,848人, 1歳6か月児健診10,841人, 3歳児健診10,614人>
妊産婦等福祉避難所の指定	大規模災害の発生時に、身近な支援者がいない妊産婦等を受け入れる「妊産婦等福祉避難所」の事前指定に係る協定を締結するとともに、運営ガイドラインを策定 <平成26年度実績：事前指定に係る協定締結施設数：9施設>

★主要数値目標 (評価基準 目標達成：A 目標未達成(前年より改善)：B 目標未達成(前年より悪化)：C)

指標	26年度目標	26年度実績	25年度実績	評価
①妊婦健康診査受診券使用率	100%	85.5%	86.3%	C
②新生児等訪問指導訪問件数	10,800人	10,506人	10,681人	C
③乳幼児健診受診率(1歳6か月児)	100%	97.2%	96.4%	B
④親子の健康づくり講座参加組数	12,600組	6,839組	6,612組	B
⑤親子すこやか発達教室参加組数	1,344組	1,134組	1,071組	B

(2) 健康増進関係

項目	取組結果
ロコモティブシンドロームの予防等の健康づくりの推進	地域において健康づくりの担い手として活動するボランティアである健康づくりサポーターの養成及び活動支援を実施するとともに、健康づくりサポーターの活動等を通じて、ロコモ予防のための運動プログラム「京ロコステップ+10」の普及啓発等を実施 <平成26年度実績：新規養成数59人，延べ活動回数819回>
がん検診の推進（働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業）	がん検診の受診勧奨リーフレットを全戸配布するとともに、過去5年間にがん検診無料クーポン券を使用しなかった対象年齢の方に再度配布する「働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業」を新たに実施 <平成26年度実績：国報告によるがん検診受診率 胃：2.8%，大腸：8.1%，肺：8.9%，乳：24.1%，子宮：21.5%>
がん検診の受診機会の拡大，利便性の向上（がんセット健診）	胃がん，大腸がん，乳がん，子宮がんの5つのがん検診を一日で受診できる「がんセット検診」について，受診機会の拡大，利便性の向上を図るため，受診会場をこれまでから2箇所拡大し，合計5箇所で開催 <平成26年度実績：がんセット検診受診者数2,524人>
官民一体によるたばこ対策の推進	平成25年に本市，京都府及び事業者連絡会の三者で締結した「受動喫煙防止対策を推進するための連携に関する協定」に基づく「店頭表示ステッカー」の普及を推進 <平成26年度実績：京都錦市場商店街振興組合，河原町商店街振興組合が新たにステッカー表示の取組に参加>
難病対策の制度改正を見据えた対応	平成27年1月から，難病の患者に対する医療等に関する法律の施行に伴い，医療費助成の対象となる指定難病が56疾患から110疾患に拡大（現在は306疾患に拡大） <平成26年度実績：新疾患に係る新規受給者数200人>

★主要数値目標（評価基準 目標達成：A 目標未達成（前年より改善）：B 目標未達成（前年より悪化）：C）

指標	26年度目標	26年度実績	25年度実績	評価
①健康づくりサポーター新規登録者数	210人	59人	108人	C
②喫煙防止教育年間受講者数	11,480人	6,930人	8,209人	C
③青年期健康診査受診人数	2,000人	2,043人	1,855人	A
④骨粗しょう症予防健康診査受診人数	1,400人	1,410人	1,185人	A
⑤生活習慣病による死亡率（がん） <人口10万人対>	294人	298人	284人	C

(3) 食育関係

項目	取組結果
食育指導員の養成	地域における食育活動を実践する市民ボランティアとして，食育指導員の計画的な養成に努めるとともに，その活動支援を実施 <平成26年度実績：新規養成数52人，延べ活動回数1,171回>
京都府との連携による連携による「健康づくり応援店（仮称）」事業の推進	「減塩」，「野菜たっぷり」等のメニュー表示を行う飲食店を「食の健康づくり応援店」として登録する「健康づくり応援店」事業（府市協調事業）の開始に向け，平成26年度はステッカーデザインを公募のうえで決定

項目	取組結果
市民による自主的な食料品等の備蓄の推進	災害時における市民備蓄の推進のため、災害時でも可能な調理例を紹介する冊子等を作成し、食育指導員を通じた市民周知を実施

★主要数値目標（評価基準 目標達成：A 目標未達成（前年より改善）：B 目標未達成（前年より悪化）：C）

指標	26年度目標	26年度実績	25年度実績	評価
①食育指導員養成数（新規）	50人	52人	52人	A
②食育セミナー受講者数	2,100人	3,194人	2,910人	A
③離乳食講習会受講者数	2,500人	2,550人	2,391人	A
④栄養相談指導人数	30,000人	33,051人	29,884人	A

（４）歯科保健関係

項目	取組結果
京都市口腔保健センター事業の推進	京都市口腔保健センター事業として、高齢者・障害者施設の入所者等の口腔ケアに係る支援を行う「歯科保健医療サービス提供困難者普及啓発等推進事業」を実施 ＜平成26年度実績：実施施設数 新規10箇所、延べ20箇所＞
保育所等との連携による「むし歯ゼロ大作戦！！」の推進	保育所等と連携し、子どものむし歯予防を推進するため、集団フッ化物洗口の実施園を拡充 ＜平成26年度実績：実施園数 新規7箇所、延べ21箇所＞

★主要数値目標（評価基準 目標達成：A 目標未達成（前年より改善）：B 目標未達成（前年より悪化）：C）

指標	26年度目標	26年度実績	25年度実績	評価
①乳幼児歯科相談受診者数	840人	587人	561人	B
②成人妊婦歯科相談受診者数	1,440人	1,441人	1,242人	A
③40歳代及び50歳代で歯肉に所見を有する者の割合（歯周疾患予防健診）	65%	78.3%	81.0%	B

（５）感染症予防関係

項目	取組結果
定期の予防接種の追加	平成26年10月から新たに定期の予防接種に追加された「水痘」及び「高齢者肺炎球菌」予防接種について、市民しんぶんや対象者への個別通知による制度周知に努める等、円滑な接種を実施 ＜平成26年度実績：水痘予防接種者数20,177人、高齢者肺炎球菌予防接種者数33,475人＞
ウイルス性肝炎検査の拡充	保健センターでの平日検査に加え、平成26年度から、新たに京都工場保健会において、第1・第3土曜日の無料検査を開始 ＜平成26年度実績：受診者数3,634人＞
風しん抗体検査の拡充及び予防接種の継続実施	妊娠を希望する女性及び配偶者等への風しん抗体検査を無料化するとともに、保健センターでの検査に加え、民間の医療機関にも拡大 ＜平成26年度実績：受診者数1,907人＞
新型インフルエンザ対策の推進	新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、国による特定接種の事業者登録への協力や、必要物品の備蓄、国等との伝達訓練及び防護服の脱着訓練等を実施

★主要数値目標（評価基準 目標達成：A 目標未達成（前年より改善）：B 目標未達成（前年より悪化）：C）

指標	26年度目標	26年度実績	25年度実績	評価
①H I V検査件数	4,000件	3,810件	3,635件	B
②肝炎ウイルス検査件数	2,300件	3,634件	2,466件	A
③性感染症検査件数	1,900件	2,403件	2,234件	A
④定期結核健診受診者数	38,000人	34,635人	35,011人	C

（6）食品衛生関係

項目	取組結果
「食品衛生監視指導計画」に基づく重点的な監視指導	食品衛生法の規定により、毎年度策定している「食品衛生監視指導計画」に基づき、平成26年度は和食、和菓子を製造・提供する施設からの抜き取り検査数を増やし、重点的な監視指導を実施 ＜平成26年度実績：食品収去検査件数2,190件＞
「京（みやこ）・食の安全衛生管理制度」の推進	本市が定めた基準に基づき、自主的な衛生管理への取組が認められる施設を認証する「京（みやこ）・食の安全衛生管理制度」の認証施設の拡充及び制度の普及促進を実施 ＜平成26年度実績：新規認証施設6施設＞
食の安全安心に関するリスクコミュニケーションの更なる推進	「食品工場見学会」や、地域の小売店等での食品表示を学ぶ「食品表示学習会」等の参加型リスクコミュニケーション事業を実施 ＜平成26年度実績：リスクコミュニケーション事業参加者数209人＞

★主要数値目標（評価基準 目標達成：A 目標未達成（前年より改善）：B 目標未達成（前年より悪化）：C）

指標	26年度目標	26年度実績	25年度実績	評価
①食品収去検査件数	2,224件	2,190件	2,189件	B
②京・食の安全衛生管理認証制度認証施設数（新規）	80件	6件	21件	C
③リスクコミュニケーション参加者数	200人	209人	208人	A

（7）薬務関係

項目	取組結果
高度管理医療機器販売許可等の事務に関する権限移譲	平成27年度からの京都府からの事務の権限移譲に向けて、薬事台帳システムの改修及び事務引継等を実施
脱法（危険）ドラッグ販売業者等への取組強化	京都府や教育機関等と連携し、街頭啓発活動や、講師の派遣及び啓発機材の貸出等による自主的な勉強会・講演会の開催支援を実施 ＜平成26年度実績：自主的な勉強会・講習会開催支援件数61件＞
安定ヨウ素剤の備蓄	原子力災害発生時に避難住民等に配布する安定ヨウ素剤を備蓄するとともに、保管場所や服用対象者、服用手順を示す「予防服用実施要領」を策定

★主要数値目標（評価基準 目標達成：A 目標未達成（前年より改善）：B 目標未達成（前年より悪化）：C）

指標	26年度目標	26年度実績	25年度実績	評価
①薬物乱用防止啓発イベント啓発者数	9,300人	17,205人	9,252人	A

(8) 生活衛生関係

項目	取組結果
ペット霊園業者に対する新たな規制等の検討	「ペット霊園対策検討プロジェクトチーム」での検討，市民公募意見及び「ペット霊園検討審議会」の答申を踏まえ，平成27年3月に，「ペット霊園の設置等に関する条例」を制定（平成27年7月1日施行）
犬猫等のふん害防止に関する新たな対策の検討	「犬猫等ふん尿被害対策検討プロジェクトチーム」での全庁的な検討結果及び市民公募意見を踏まえ，平成27年3月に「動物との共生に向けたマナー等に関する条例」を制定（平成27年7月1日一部施行，同10月1日完全施行）
「お風呂屋さん再発見事業」の推進	お風呂屋さんの活性化に取り組む「お風呂屋さんサポーター」との協働により，ウォーキングや展示ブースの出展等の啓発事業を企画，実施 <平成26年度実績：お風呂屋さんサポーター数13人>

★主要数値目標（評価基準 目標達成：A 目標未達成（前年より改善）：B 目標未達成（前年より悪化）：C）

指標	26年度目標	26年度実績	25年度実績	評価
①狂犬病予防注射実施率	75%	67.8%	69.4%	C
②一般公衆浴場数	170軒	155軒	166軒	C

(9) 医療監視等関係

項目	取組結果
医療監視等の実施	医療法に基づき，医療機関への立入検査による医療監視を実施 <平成26年度実績：定期医療監視134件，臨時医療監視10件>
病院の開設許可等の事務に関する権限移譲	平成27年度からの医療法の改正に伴う病院の開設許可等の事務の権限移譲に向け，京都府医療課と円滑な引き継ぎに向けた協議を実施

(10) その他保健所関連業務

項目	取組結果
「京都動物愛護センター」の整備	全国初の府市共同設置による「京都動物愛護センター」（愛称：「動物愛ランド・京都」）について，平成27年3月に竣工（5月に正式開所）
「京都動物愛護センタープレ事業」の推進	「京都動物愛護センター」の開設直後からの円滑かつ効果的な事業の推進に向け，ボランティアスタッフの募集や，出前講座等を実施 <平成26年度実績：新規ボランティアスタッフ数37人，延べ75人>
「京都動物愛護憲章」の制定	人と動物との共生社会の実現に向けて目指すべき社会の姿や，行動指針を示す「京都動物愛護憲章」について，平成26年12月12日（ワンニャンの日）に，府市協調で制定
市衛環研と府保環研の共同化による整備計画の策定	老朽化，狭あい化という共通の課題を抱える両研究所の共同化による整備に向け，平成26年度は府市共同により整備基本計画を策定
京都市中央斎場再整備事業の推進	老朽化が進行している京都市中央斎場について，平成26・27年度にかけて，耐震改修及びバリアフリー改修のほか，収骨室や待合室の増設，レストランの設置等の再整備事業を推進
深草墓園・宝塔寺山墓地再整備事業の推進	深草墓園及び宝塔寺山墓地のバリアフリー化及び新規区画の造成等の再整備について，平成26年度は用地取得及び園路の整備を推進
市営墓地無縁改葬の実施	使用者及び縁故者が不明な無縁墳墓の新規の使用者募集に向け，平成26年度は戸籍調査等を行ったうえで使用権を取消し，改葬を実施 <平成26年度実績：無縁改葬整理210件>

